

広資料第107号  
令和4年6月2日  
教育部文化振興課  
市民情報提供資料

## 歴史民俗資料館分館におけるくん蒸消毒作業中の消防設備の作動について

このことについて、歴史民俗資料館分館において、くん蒸消毒作業中に不活性ガス（窒素ガス）消防設備が作動したことを受け、消防庁等関係機関と下記のとおり対応しましたので、お知らせします。

### 記

#### 1 概要

令和4年6月2日に歴史民俗資料館分館のくん蒸消毒を請け負った委託事業者が収蔵庫内の消毒作業を開始したところ、くん蒸消毒用のガスに消防設備が反応し、歴史民俗資料館分館内に消火用不活性ガス（窒素ガス）が噴射されたもの。

#### 2 主な対応状況

時間	内容
午前9時30分頃	くん蒸消毒作業開始
午前9時31分頃	不活性ガス（窒素ガス）消防設備作動
午前9時32分頃	現場から消防庁へ連絡
午前9時50分頃	消防庁職員現場到着、現場状況等調査開始
午前10時頃	歴史民俗資料館分館近隣住民の方へ消防設備が作動したことにより、不活性ガス（窒素ガス）が放出されている可能性がある旨の周知を実施
午前10時15分頃	不活性ガス（窒素ガス）消防設備が作動したことに伴い、歴史民俗資料館分館内の酸素濃度が著しく下がっていることを確認
午後0時5分頃	歴史民俗資料館分館内の酸素濃度が通常通りに戻っていることを確認
午後0時10分頃	歴史民俗資料館分館内を市職員と消防庁等関係機関の職員で異常がないことを確認
午後0時30分頃	歴史民俗資料館分館近隣住民の方へ対応が終了し、異常がない旨の周知を実施

### 3 不活性ガス（窒素ガス）について

自然物質であり、人体には無毒。自然の空気とほぼ同じ比重のため、長く室内に滞留し、消火効果が持続する。密閉された室内において、噴射された場合、著しく酸素濃度が下がるため、室内に入る際は注意が必要とされる。

### 4 発生原因

本来、くん蒸消毒作業前に不活性ガス（窒素ガス）消防設備が反応しないように設定すべきところ、委託事業者との連絡調整不足により、設定を変更せずに作業を開始したため。

### 5 今後の対応

委託事業者との委託及び連絡調整の方法等について見直すとともに、くん蒸消毒作業マニュアル等を作成し、再発防止に努める。